# フェローズ ラミネーター

## Jupiter A3

## 取扱説明書・保証書

**フェローズ ジャパン株式会社**
〒141-0031
東京都品川区西五反田4-32-1
東京日産西五反田ビル2号館7F
Phone. 03-5496-2401（代）

fellowes.co.jp

# 目　次


目次 1

使用上の注意 2

はじめに 3

本機の特長 3

内容物の確認 3

各部の名称と働き 4

ラミネートの前に… 5

ラミネート作業上の注意 5

ラミネートフィルムについて 5

ご使用方法（ホットラミネート） 6

ご使用方法（コールドラミネート） 7

お手入れの方法 8

こんな時は… 8 ～ 9

製品仕様 10

保証書 11

# 使用上の注意

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

**安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。**

### ⚠ 警　告

お子様だけでの使用、幼児の手の届くところでの作業はしないでください。
※怪我、感電の恐れがあります。

マシン本体の上面及びラミネート直後のフィルムは、高温になっていますので十分に注意してください。
※高温のためやけどをする恐れがあります。

ネクタイ･ネックレス･髪などを引き込まれないようにしてください。怪我をする原因になる恐れがあります。もし引き込まれた時は、ただちにリバースボタンを押してください。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬ怪我をする恐れがあります。

電源コードを高温の表面に接触させないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

### ⚠ 注　意

このマシンは用紙・印刷物・写真専用のラミネーターです。
ラミネート以外の目的には使用しないでください。

絶対に可燃物（セロファンなど）、軟化しやすい物（塩ビ、ポリエチレンなど）など、ラミネーター専用のフィルム以外は入れないでください。
※火災の恐れがあります。

ラミネーター操作中はそばを離れないでください。

紙幣・クレジットカード・金属・ビニール製品・布・木片などは、絶対にラミネートしないでください。

本機の上にものを載せたり、腰掛けたり、乗ったりしないでください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

このマシンは必ず平らなところに設置し、マシンの後ろ側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。

マシンや電源コード、コンセントなどに水がかからないように十分に注意してください。
※火災、感電の恐れがあります。

冷暖房機のそば、水のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

通常の操作以外に本機を清掃したり持ち運んだりする際には、必ず電源スイッチをオフにし、プラグを抜いてください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

電源プラグを抜くときは必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

電源コードを棚の上などから下げたままにしないでください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

電源コードは伸ばして使ってください。束ねたままで使うと加熱の原因になります。

電源は必ず AC100V 電源を使用してください。また、電源プラグは壁のコンセントに直接つなぎ、延長コード等はご使用にならないでください。タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

必ずアースリード線を接地（アース）してください。アース線は必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。またアース接続をはずす場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから、接続をはずしてください。

このラミネーターは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

# はじめに

このたびはフェローズラミネーター Jupiter A3 をお買い上げいただき、ありがとうございます。
Jupiter A3 は、オフィスやご家庭で印刷物や写真を簡単にラミネートすることができるラミネーターです。
ご使用になる前には、必ず取扱説明書をよくお読みいただきますようお願い申しあげます。
また、本取扱説明書は必ず保管してください。

# 本機の特長

## クリアーパス ™

4 本ローラー + プレヒーター方式による画期的なメカニズムです。
前部 2 本のローラーで送り込まれたラミネートフィルムが、プレヒーターで余熱され、後部 2 本のローラーで設定温度まで一気に加熱されることによりフィルム詰まりや反り、波打ちを防ぎ、スピーディーな加工ができます。

## イージーアクセス ™

上部カバーと駆動部、2 段階の開閉が可能です。フィルム詰まりの解消や、ローラーのクリーニングが容易にできます。オープンボタンを押すとクーリングファンが作動し、本体が冷めると LED ランプとブザーでお知らせします。安全のため、本体が冷めないと上部カバーを開けることはできません。

## ヒートガード ™

2 重断熱層構造で本体の天部に触れても熱くなく、ご使用時の不快感を大幅に低減しました。
※ラミネートした直後のフィルムは熱くなっていますので、充分ご注意ください。

# 内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品があることをご確認ください。

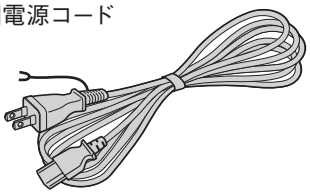
■本体

■取扱説明書（本書）

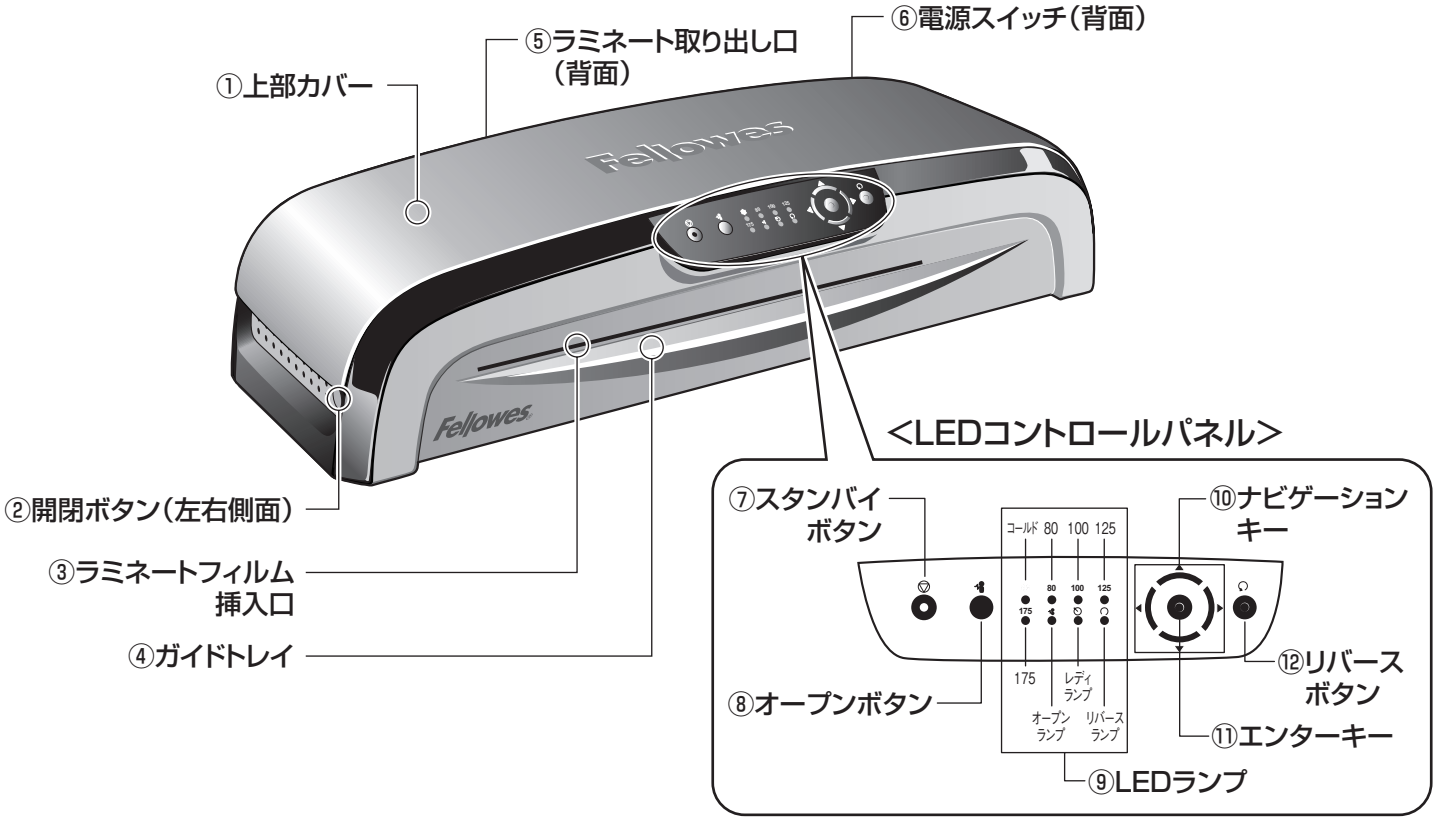
■クリーニングシート

■スターターキット

■電源コード



# 各部の名称と働き




### ①上部カバー

フィルム詰まり、巻き込みを解消するために開けることができます。
※手順は9ページを参照してください。

### ②開閉ボタン（左右側面）

上部カバーを開けるときに使用するボタンです。LEDコントロールパネルのオープンボタンを押してから、左右の側面にある銀色のボタンを同時に押して上部カバーを開けます。

### ③ラミネートフィルム挿入口

ラミネートフィルムをここから挿入します。

### ④ガイドトレイ

ラミネートフィルムを挿入する時のガイドです。

### ⑤ラミネート取り出し口（背面）

ラミネートされたフィルムがここから出てきます。

### ⑥電源スイッチ（背面）

電源のオン／オフの操作を行います。

### ⑦スタンバイボタン

このボタンを押すとラミネートの設定や作業が行えます。

### ⑧オープンボタン

上部カバーを開けるとき、まずこのボタンを押します。クーリングファンが作動し、本体が冷めるとブザーでお知らせします。
※安全のため、本体が冷めないと上部カバーを開けることはできません。
※スタンバイ状態の時は作動しません。

### ⑨LEDランプ

ラミネートの設定（コールド、またはラミネートフィルムの厚さ）や本機の状態をLEDランプでお知らせします。

### ⑩ナビゲーションキー

ラミネートの設定を選択するときに使用します。

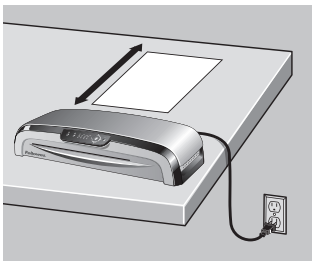
### ⑪エンターキー

設定を確定します。

### ⑫リバースボタン

内部のローラーを逆回転させるボタンです。
※スタンバイ状態の時は作動しません。

# ラミネートの前に・・・



このラミネーターは平らな安定した場所で、電源ソケットのプラグの着脱が容易にできる場所に設置してください。
ラミネーターの後部はラミネートされたものを容易に排出できるように十分なスペースをとって設置してください。
また、周辺には燃えやすいものを置かないでください。

# ラミネート作業上の注意

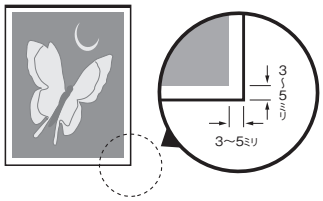
ラミネーターは操作や使用法の誤りによりラミネートに失敗したり、フィルムを巻き込んで故障する場合があります。以下に書いてある注意事項をよくお読みの上、厳守してご使用ください。

## ラミネートしてはいけないもの

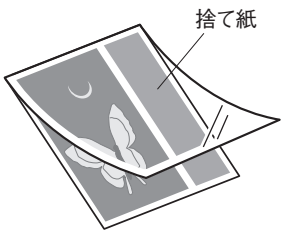
- **ラミネートしてはいけないもの**
  金属・ビニール製品・布・木片など、紙以外のもの
  和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙
  可燃物（セロハンなど）
  軟化しやすいもの（塩ビ、ポリエチレン製品など）
- **たった一枚しかないような大切なものをラミネートすることはお避けください。大切なものをラミネートしたい場合は、まず同じ大きさ、同じ厚さのもので試してください。**
  万一失敗したり内部に詰まったりすると、元どおりに再生することができません。
- **資料や写真をはさまないフィルムだけのラミネートはしないでください。**
- **フィルムも含めて厚さ0.7mm より厚いものはラミネートできません。**
  無理にラミネートしようとするとマシンの内部機構を傷め、ローラーやヒーターなどが破損する場合があります。厚紙をラミネートするときはあらかじめ厚みを計測してください。
- **本機は厚さ 80 ～ 175 ミクロンのラミネートフィルムに適応しています。**
  それ以外の厚さのフィルムではきれいにラミネートできません。

# ラミネートフィルムについて

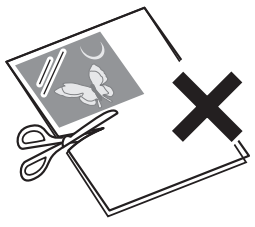
なるべくフェローズのラミネートフィルムをお使いください。フィルムの特性が合わないとフィルムにしわができたり、仕上がりが良くない場合があります。



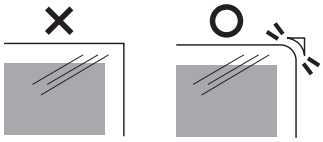

**ラミネートするものより周囲が 3 ～ 5mm ほど大きなフィルムを使用してください。**
この幅が小さいと周囲がうまく接着されず、その部分からはがれる原因になります。
また、大きすぎると巻き込みの原因になります。




**最適なフィルムがない場合は、大きめのフィルムを使用して、空白部分に捨て紙を入れてラミネートしてください。**
ラミネートした後、ラミネートしたもののサイズに合わせてカットしてください。



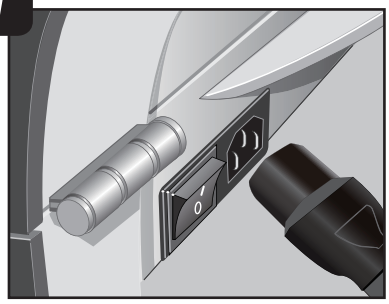
**ラミネートする前にフィルムをカットしたり、変形させたり継ぎ足したりしてお使いにならないでください。**
内部のローラーに巻き付いたり内部で詰まって故障の原因になります。



**ラミネートした後にフィルムをカットされた場合は、コーナーを丸めてください。**
とがった角で怪我をする恐れがあります。

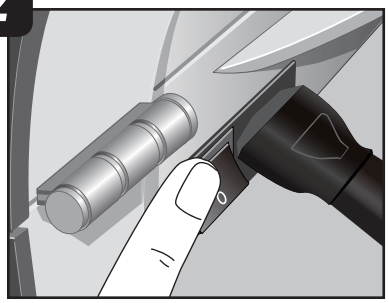
# ご使用方法（ホットラミネート）

**1**



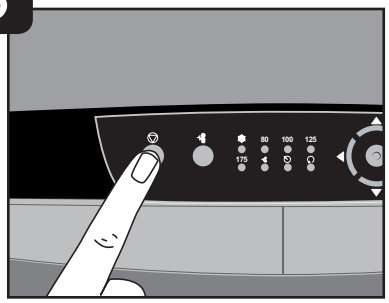
電源スイッチが〇の位置にあることを確認します。電源コードを本体に取り付け、電源プラグをコンセントに差し込みます。

**2**



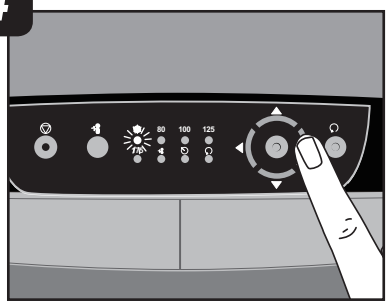
電源スイッチの | 側を押します。

**3**



LED コントロールパネルの左にあるスタンバイボタンを押します。( 中央のランプが点灯します。 )

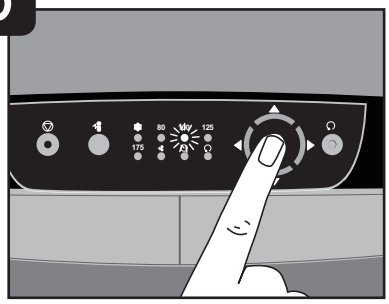
**4**



もう一度スタンバイボタンを押すと、コールド（❄）ランプが点滅します。ナビゲーションキーの◀▶▲▼を押して、使用するラミネートフィルムの厚さ（80、100、125、175 ミクロン）を選びます。

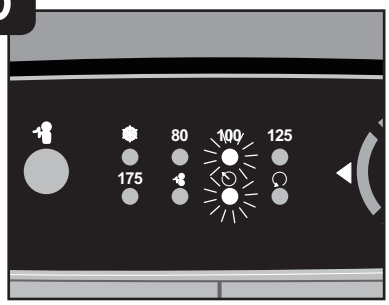
●選んだ厚さに対応した LED ランプが点滅します。

**5**



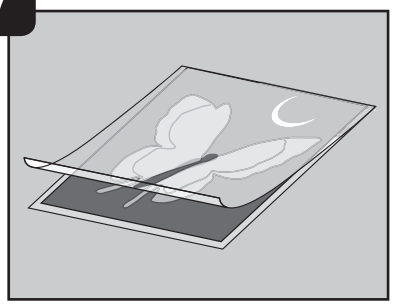
ナビゲーションキーの中央にあるエンターキーを押して設定を確定します。ブザーが鳴って LED ランプが点滅→点灯に変わり、ウォームアップを開始します。

**6**




ウォームアップ中はレディランプが点滅します。ウォームアップが完了しラミネート可能になると、レディランプは消灯し（設定したフィルム厚の LED ランプは点灯）、ブザーでお知らせします。

**7**

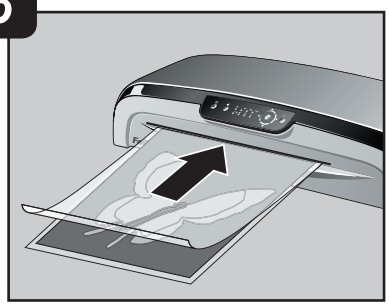


ラミネータのウォームアップ中にラミネートしたいものを準備します。ラミネートするものをフィルムのシール部（接合部）の奥まできちんと入れて挟みます。

**⚠ 注意**

● 接合部に余白があると、巻き込みなどの原因になりますので、奥まできちんと入れてください。

**8**



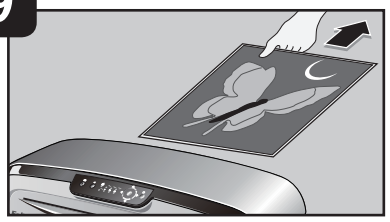
シールされた側から**挿入口に平行に**静かに差し込んでください。

**⚠ 注意**

● **ななめに入れるとフィルムがしわになったり、途中で詰まって故障の原因になります。**

● フィルムのシール部（接合部）以外のところから挿入するとフィルムがめくれて内部で詰まったり、ローラーに巻きついて故障の原因になります。

**9**



ラミネートを終了したフィルムを後部取り出し口より取り出し、平らに置き数秒冷ましてください。

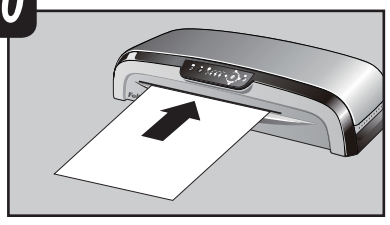
**⚠ 注意**

● 途中で後ろから引っ張ったりしないでください。

● 続けてラミネートするときは、必ず前にラミネートしたものを取り出した後、次のラミネートフィルムを入れてください。

● フィルムが熱くなっていますので、充分ご注意ください。

**10**



ラミネート作業が終了したら付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を数回空通ししてローラーのクリーニングをします。（→ 8 ページ）

**11** 使用後は、スタンバイボタンを押し、その後必ず背面の電源スイッチをオフにしてください。

**⚠ 注意**

● 本機を操作してから 1 時間以上経過するとオートパワーオフが働き、スタンバイ状態になります。

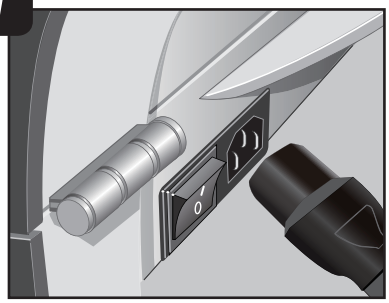
# ご使用方法（コールドラミネート）

このラミネーターは通常のホットラミネートの他、熱を加えないコールドラミネートに使用することができます。コールドラミネートとは和紙、感熱紙、クレヨン画など熱を加えてラミネートすると変色したり、滲んだりするものにラミネート加工をするためのものです。

**⚠ 注意**

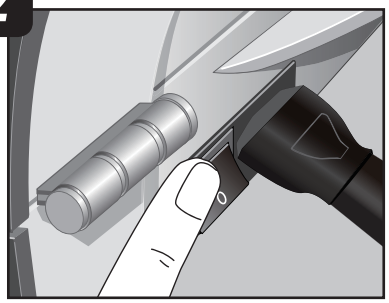
- 必ずコールドラミネート専用のフィルムをお使いください。
- ホット／コールド、両方のラミネート作業を行う場合は、先にコールドラミネートを行い、その後でホットラミネートを行ってください。
- ホットラミネートの後、コールドラミネートを行う場合は電源スイッチを切った後、最低 30 分以上おいて、ラミネーターの熱を完全に冷ましてからにしてください。

**1**



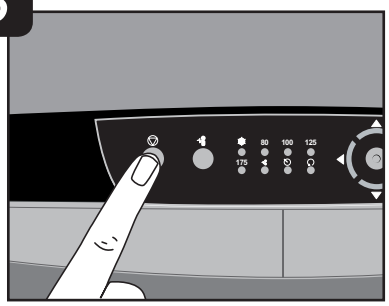
電源スイッチが〇の位置にあることを確認します。電源コードを本体に取り付け、電源プラグをコンセントに差し込みます。

**2**



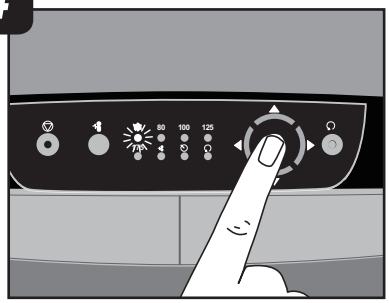
電源スイッチの | 側を押します。

**3**



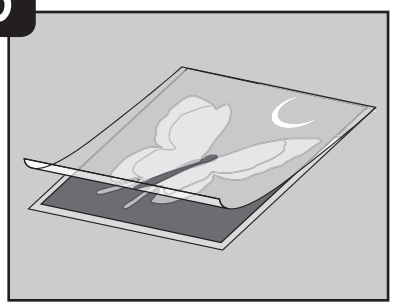
LED コントロールパネルの左にあるスタンバイボタンを押します。( 中央のランプが点灯します。 )

**4**



もう一度スタンバイボタンを押すと、コールド (❄) ランプが点滅します。ナビゲーションキーの中央にあるエンターキーを押します。

**5**

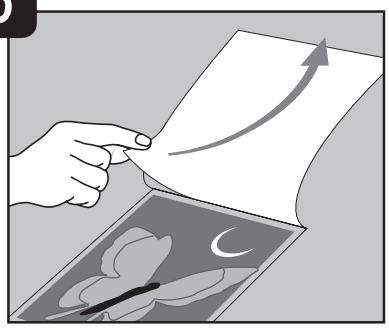


コールドラミネート専用のフィルムに原稿を挟みます。

**⚠ 注意**

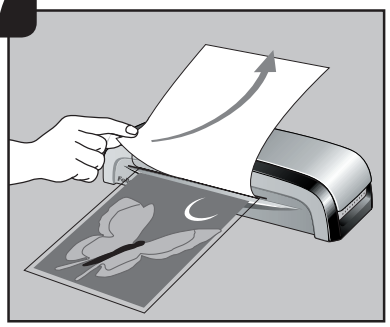
- 必ずコールドラミネート専用のフィルムをお使いください。

**6**



フィルムのシール部側から合紙をそっとはがしながら挿入口に差し込みます。

**7**



合紙はラミネート作業中に手で支えていると自然にはがれていきます。

**8**

ラミネートを終了したフィルムを後部取り出し口より取り出します。

**9** 使用後は、スタンバイボタンを押し、その後必ず背面の電源スイッチをオフにしてください。

**⚠ 注意**

- 本機を操作してから 1 時間以上経過するとオートパワーオフが働き、スタンバイ状態になります。

# お手入れの方法

## 本体のお手入れ

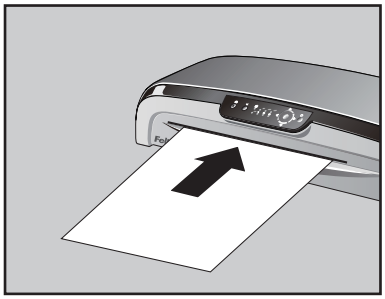
柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤を少量布につけて拭いてください。本体のお手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

**⚠ 注意**

● シンナー、ベンジン、クレンザーなどは変形や傷の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

## ローラーのお手入れ

ラミネーターは1枚ラミネートするごとに、熱により溶けたフィルムの接着剤が内部のローラーに少量づつ付着して汚れてきます。毎回ラミネート作業終了後、電源を切る前に、ローラーのクリーニングをしてください。



付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を数回空通ししてください。ローラーの汚れが紙に吸着されてクリーニングされます。
ラミネート作業を開始する前にも、このクリーニングを行うと、より効果的です。

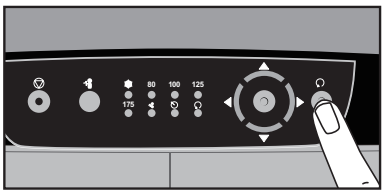
# こんな時は・・・

| 現象 | 原因 | 対処法 |
|---|---|---|
| 電源が入らない　動かない | 電源プラグが正しくコンセントに入っていますか? | 電源プラグを正しくコンセントに入れてください。 |
| | スタンバイランプが点灯していますか? | 主電源は、本機の背面にあります。電源スイッチのＩ側を押した後に、スタンバイボタンを押して、スタンバイランプを点灯させてください。 |
| | オートパワーオフが働いていませんか? | 本機を操作してから1時間以上経過するとオートパワーオフが働き、スタンバイ状態になります。この時はスタンバイボタンを押してから操作を始めてください。 |
| ウォームアップが完了しない（レディランプが消灯しない） | オートパワーオフが働いていませんか? | 本機を操作してから1時間以上経過するとオートパワーオフが働き、スタンバイ状態になります。この時はスタンバイボタンを押してから操作を始めてください。 |
| | クーラーの冷気が直接当たっていませんか? | クーラーの冷気から離してご使用ください。 |
| | 高温多湿な場所でラミネートしていませんか? | 涼しく乾燥した場所にラミネーターを移動させてからご使用ください。 |
| フィルムが引き込まれない | コールドまたは設定したフィルム厚に応じたLEDランプが点灯していますか? | LEDランプが点滅している（設定が確定していない）ときは、内部のローラーが回りません。ナビゲーションキーの中央にあるエンターキーを押して、設定を確定してください。 |
| 仕上がりが白っぽく曇っている | ラミネート温度が低すぎます。 | 一段階上の温度設定をお試しください。スタンバイボタンを押して、一段階上のフィルム厚に設定してください。 |
| 仕上がりが波をうっていたり、気泡が出ている | ラミネート温度が高すぎます。 | 一段階下の温度設定をお試しください。スタンバイボタンを押して電源を切り、しばらくした後電源を入れてください。一段階下のフィルム厚に設定してください。 |
| 仕上がったフィルムが反る | ラミネートした直後のフィルムは柔らかくなっているので反ることがあります。 | ラミネート取り出し口の下に本などを積んで、フィルムがまっすぐ出てくるようにすると、よりきれいに仕上がります。 |
| ラミネートフィルムの表面が汚れる | ローラーが汚れています。 | 付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を使ってクリーニングしてください。 |
| ラミネートフィルムがはがれる | ラミネートする紙が厚すぎます。 | フィルムも含めて厚さが0.7mmより厚いものはラミネートできません。0.7mmより薄いものがうまくラミネートできない場合は、何回かラミネーターに通してください。 |
| | 紙以外の材質のものをラミネートしていませんか? | 本機は紙専用のラミネーターです。プラスチック・金属・ビニール・布等はラミネートできません。 |
| | 特殊な紙をラミネートしていませんか? | 紙にコーティング処理または油分が含まれている特殊紙は加工できません。 |
| ラミネートフィルムが取り出し口から出てこない | フィルムがラミネーターの中に詰まっています。 | ただちに、リバースボタンを押して取り出してください。それでも取り出せない場合は、上部カバーを開けて詰まったフィルムを取り除いてください。 |
| 開閉ボタンを押しても上部カバーが開かない | オープンランプが点灯していますか? | オープンランプが点灯していないときは上部カバーは開きません。オープンボタンを押してオープンランプを点灯させてください。 |
| | レディランプが点滅していませんか? | オープンランプが点灯していても、レディランプが点滅している場合は上部カバーは開きません。クールダウンが終了し、レディランプが消灯するまでお待ちください。 |

# こんな時は・・・

## フィルムが詰まったときは、まず・・・

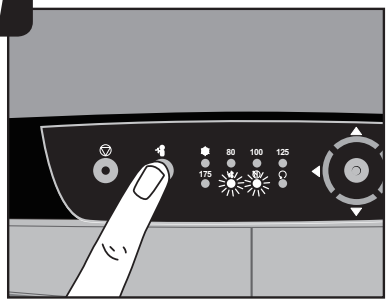
通常のタイミングでフィルムが排出されないなど、詰まったと思われる場合は、まずリバースボタンを押してください。ローラーが逆回転し、ラミネート中のものを手前に戻すことができます。



## イージーアクセス™

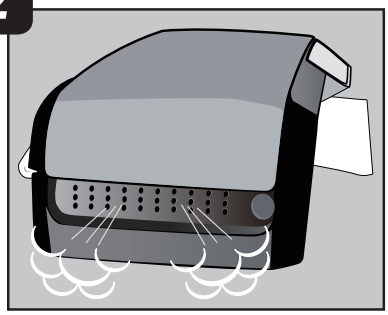
リバースボタンを使っても詰まったフィルムを取り除けなかった場合は、下記の手順で上部のカバーを開け、フィルムを取り除くことができます。

**1**



オープンボタンを押します。オープンランプが点灯し、レディランプが点滅を始めます。

**2**

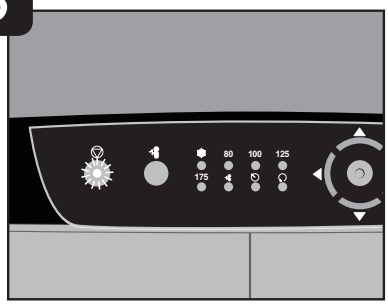


クーリングファンが作動し、本体内部の温度を下げます。この間レディランプが点滅します。

**⚠ 注意**

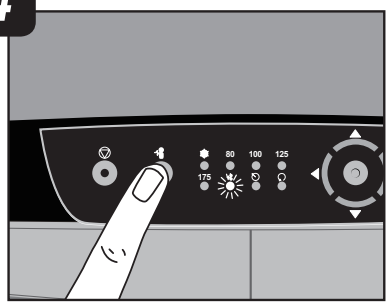
- 安全のため、本体が冷めないと上部カバーを開けることはできません。
- スタンバイ状態の時は作動しません。

**3**



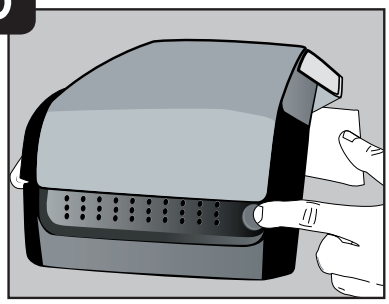
上部カバーを開けられるようになると、オープンランプとレディランプが消灯し、ブザーが鳴ります。スタンバイランプが点灯します。

**4**



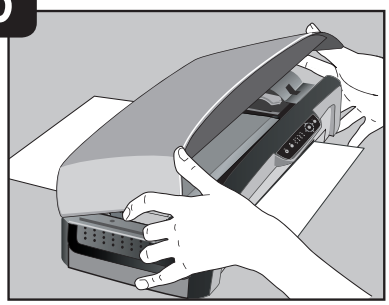
オープンボタンを押します。
オープンランプが点灯します。

**5**



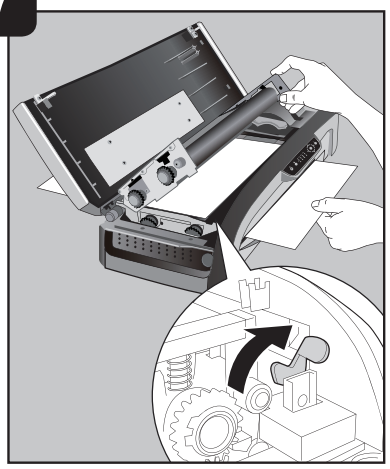
両側の開閉ボタンを同時に押します。

**6**



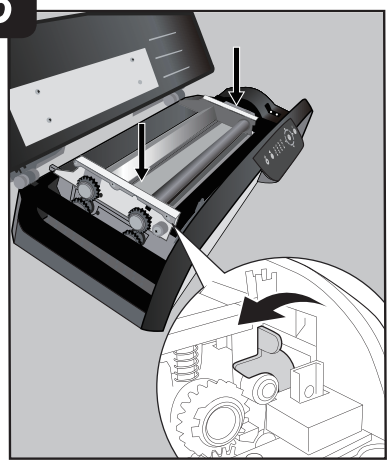
両手で上部カバーを開けます。

**7**



両側のレバーを外し、駆動部を持ち上げて詰まったフィルムを取り除きます。

**8**



ローラーに何もついていないことを確認し、駆動部を元に戻します。両側のレバーをセットし、その後、上部カバーを閉めてください。

**⚠ 警告**

- フィルムの詰まった状況によっては、温度が下がりにくいときがありますので、クールダウン後でも駆動部やローラーが部分的に高温になっている場合があります。レバーを外す際や詰まったフィルムを取り除く際は充分ご注意ください。

**上記で取り除けない場合は弊社までご連絡ください。**

# 製品仕様

| | |
|---|---|
| 品名 | Jupiter A3（ジュピター A3） |
| 品番 | 5703401 |
| 外寸法 | H120×W555×D245mm |
| 質量 | 6.2kg |
| 投入幅 | 322mm |
| 消費電力 | ホットラミネート：800W |
| 電流 | 8A |
| 電源 | AC100V 50/60Hz |
| コードの長さ | 120cm |
| ウォームアップ時間 | 約4分 |
| ラミネート方式 | ホットラミネート／コールドラミネート |
| 加熱方式 | プレヒーター方式（プレヒーター＋外部加熱） |
| 温度設定 | 5段階（コールドラミネート含む） |
| ローラー本数 | 4本ローラー |
| 最大ラミネート厚 | 0.7mm |
| 適用フィルム厚 | 80～175ミクロン |
| ラミネート速度 | 50Hz：500mm/分<br>60Hz：550mm/分 |
| 保証期間 | 1年間 |